

あのね、保育の根 No.8

～ふくえんちょうのおたより～ 11月



プレイデーを終えて...

先日は強風や雨天による順延など、保護者の皆様にはご理解とご対応をいただきありがとうございました。こども達は「ママ(パパ)いつ来る？」とプレイデーを楽しみに待つ姿が見られました。当日は、普段以上に生き生きとした姿やこども達の“笑顔”やそれに応えるようなお母さんやお父さんの“笑顔”がそれぞれの親子の形で見られたことに温かい気持ちになりました。

今まで取り組んでいた「見せる運動会」から「一緒に楽しむ運動あそび」に環境が変化した中で、こども達が見せてくれた姿から改めて感じさせてもらったことを今回のお話のテーマとさせていただければと思います。

～こどもにとってのお母さんやお父さん～

プレイデーを終えて、改めてお母さんやお父さんの存在がこどもにとっていつも以上に力を発揮させる存在であることを再認識できる場となりました。私自身も先日、息子の運動会に参加してきましたが、家ではなんでも「やって～(甘)」や「1番じゃなきゃだ～(泣)」といった姿が、保育園では「いっちょまえ」にみんなと一緒に並んで歌ったり、踊ったり、走ったり(4人中3位でもやりきった感)とする姿、しまいには「ちゃんと写真撮った？」と途中で確認にくるほど...(笑)そんな姿に感心を得た一日となりました。皆様も同じように思えたのではないのでしょうか。

こどもにとって大好きなお母さんやお父さんが一緒にいることや側で見守っていてくれることで「僕(私)のかけこいところを見て！」という“自信”に繋がったり、「ちょっと苦手だけどやってみる！」といった背中を支えてくれる“安心感”に繋がり、それぞれの思いからさらにこども達の力を1歩前進させているのだと感じさせられました。また、なによりもお母さんやお父さんの“笑顔”がこどもにとって一番の喜びに繋がっていると改めて感じさせられました。

園としてプレイデーという新たな試みにまだまだ課題はつきませんが、保護者の皆様にお付き合いいただいたこと、ここに感謝申し上げます。

～こどもにとってのおとなの在り方「願い」～

ここからは、保育者として「こどもにとってこうしたおとなで在りたい」という思いをお話させていただければと思います。

こどもは、泣くことで思いを伝える新生児～本当の思いとは反した言葉や態度で表出する幼児期と様々な発達段階において、おとなに“こうしてほしい”と見せる姿は、場面によってはおとなを困らせることもあり、それぞれの思いは異なるように見えるかと思っています。

しかし、前回の副園長だより(No.5)と重なりますがこどもの“本当の思い”を覗いてみると、“自分のことをしっかりと見ていてくれる人”“困った時に力になってくれる人”“嬉しい気持ちや悲しい気持ちといった様々な感情を理解し共感してくれる人”といった共通の思いがあります。この姿は、心から自分の身を委ねられるおとなにしか見せません。こどもにとってその様なおとなは、気が緩められる、安心できる“安全基地”となっています。

では頼れる場所がないときにこども達はどのようにしているかという、“上手いかないなりになんとかしようとするんです！”“いつもは靴下を履かせてもらうけど、かかと部分が上にきたり、裏返しになったりしながらも自分で履くんです！”“こういった姿はしてもらった経験があるからこそできることであって、おとなが愛情を持って手を掛けた分だけこどもの成長に繋がっています。

だからこそ今回のプレイデーでは、いつも以上の力が発揮できたり、苦手なことにも踏み出す勇氣を持てたのではないのでしょうか。こども達の成長にももちろん大きな拍手を送りますが、日々それぞれの立場の中で愛情を持って育児に励むおとなの皆さんにも大きな拍手があっても良いのかなと思います。今、読んでいる自分にも盛大な拍手を送りましょう！（あくまでも私自身の主観となることをご理解いただければ幸いです...）

～10月から始まりました保育参加体験～

“保育参加体験”まだまだ枠がありますので、お申し込みがまだの方は是非、事務所までお声掛け下さい！お待ちしております。

-おしまい-